

■公共交通利用者実態調査（市営バス利用者調査 OD 調査） 結果概要

追加参考資料
（各種調査結果概要 P.39 関係）

1 調査概要（市営バス利用者調査）

対象者	・市営バス利用者（市内 14 路線の利用者）
主な調査項目	・利用者属性（性別、年齢、利用頻度、外出目的） ・運行サービスに対する満足度と改善して欲しいサービス ・乗降バス停状況
調査方法	・市営バス利用者に調査票（ピンゴカード）を配布・回収
調査期間	・令和 3 年 9 月 15 日（水）、16 日（木）
回答数	・192 名（スクール利用 46 名）

2 路線別の特性

○路線便ごとに通過人員をみると、②のいち北部循環線が 10 人前後で最も多く、安定した利用状況となっている。

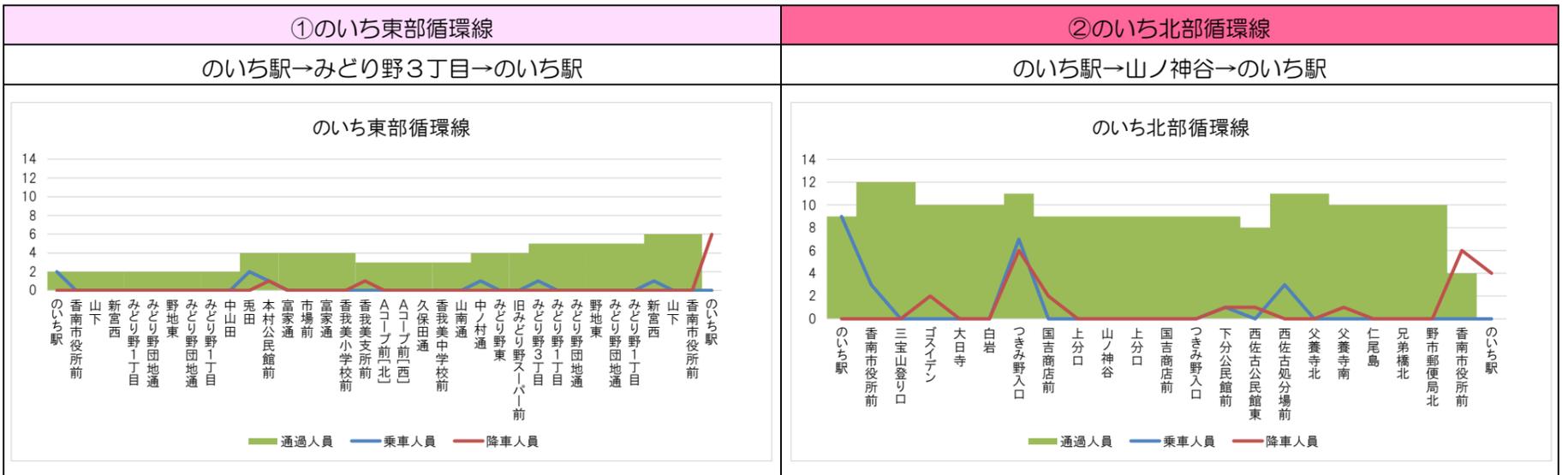
○①③⑤⑧⑨⑩⑪⑬路線においては、最大 6 人以下の通過人員となっている。

○⑨深淵・母代寺線は利用者が 0 人であり、その他の路線でも通過人員が 0 人で走行している区間もある。

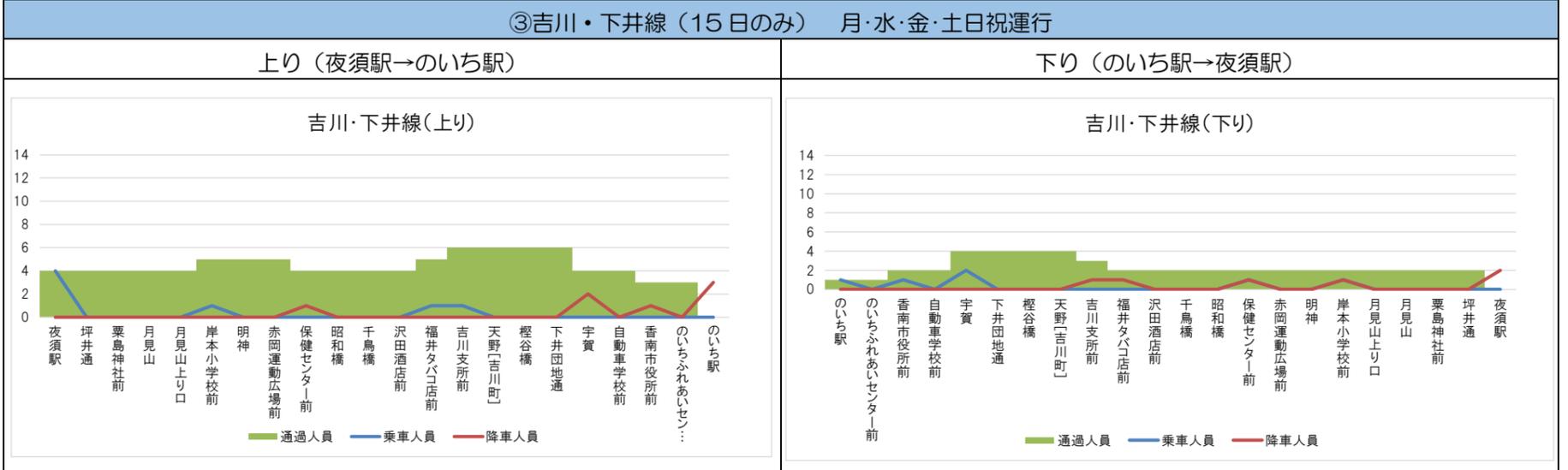
○主に買い物や通院目的の利用者が多く、買い物では各路線でのいち駅利用者に多くみられる。また、通院では野地東駅、保健センター前駅、宇賀駅に多く見られる。

○市内 14 路線のうち、通学のみ利用状態となっている路線は、⑬千切・行間循環線、⑭手結・住吉線となっている。

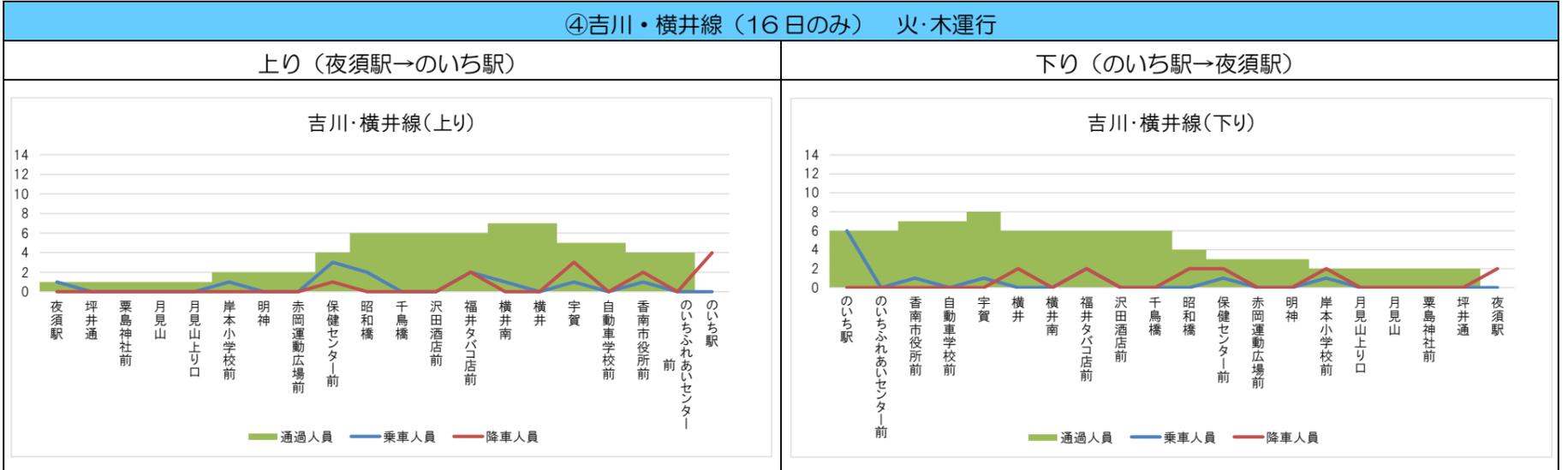
3 路線別乗降区間図



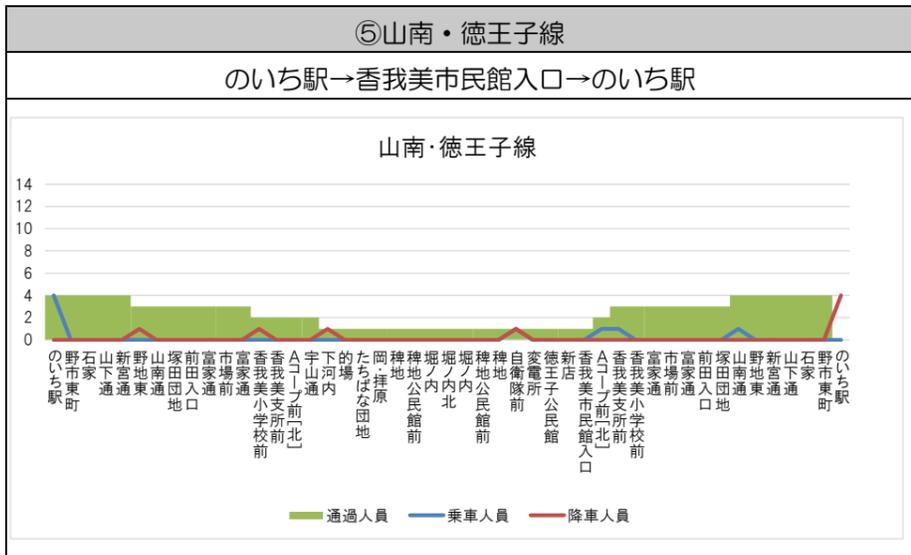
※①②ともに買い物目的の利用者が多く占める。



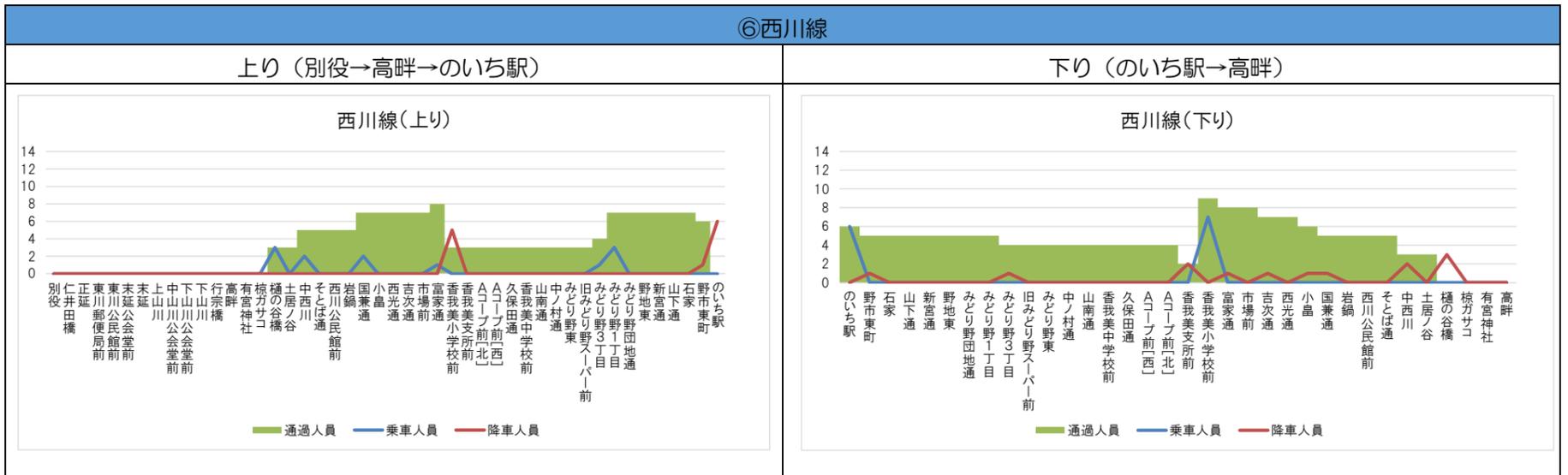
※③買い物または通院目的の利用者が多く占める。



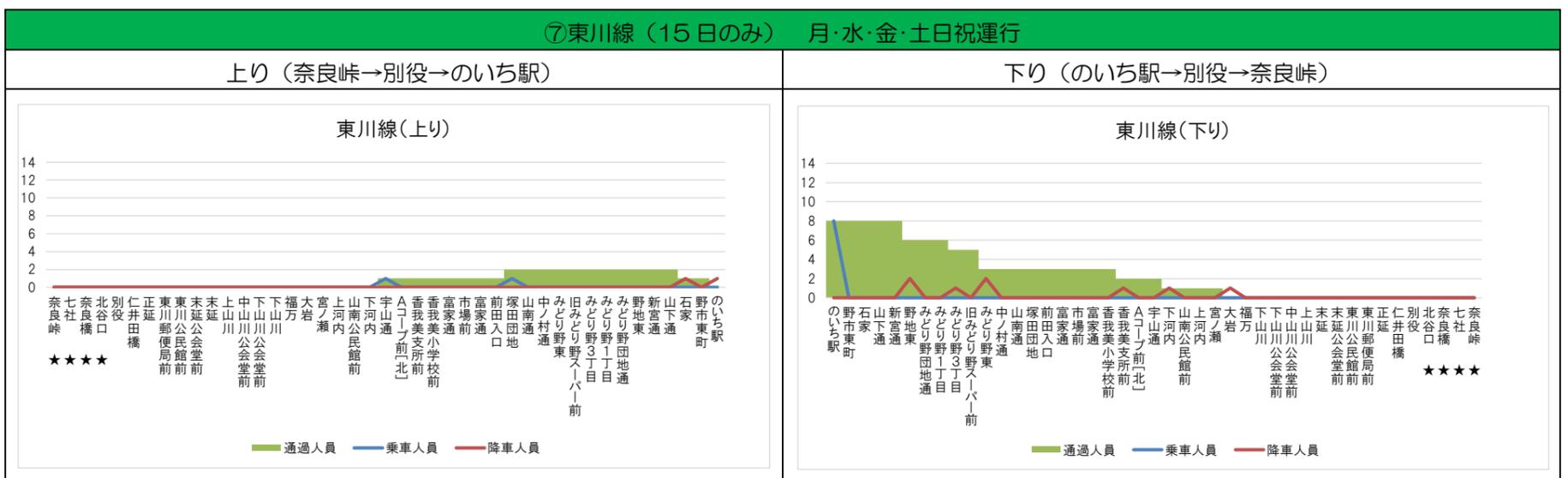
※④買い物目的の利用者が最も多く、次いで通院が多い。



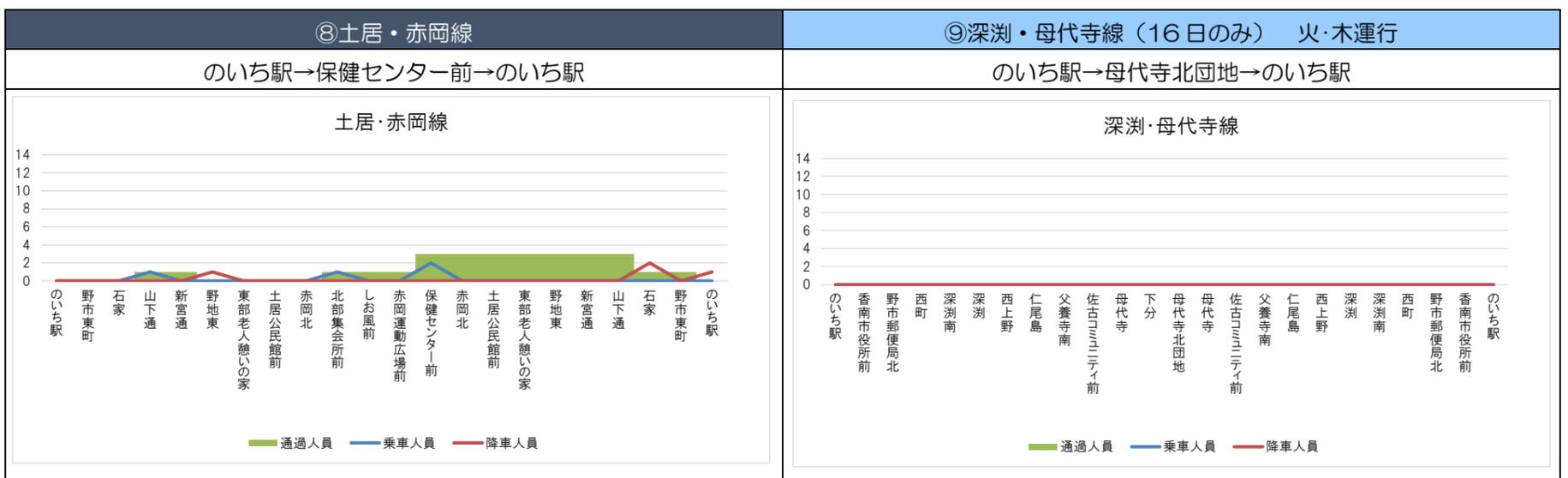
※⑤通勤や通学の利用者の割合が多い。



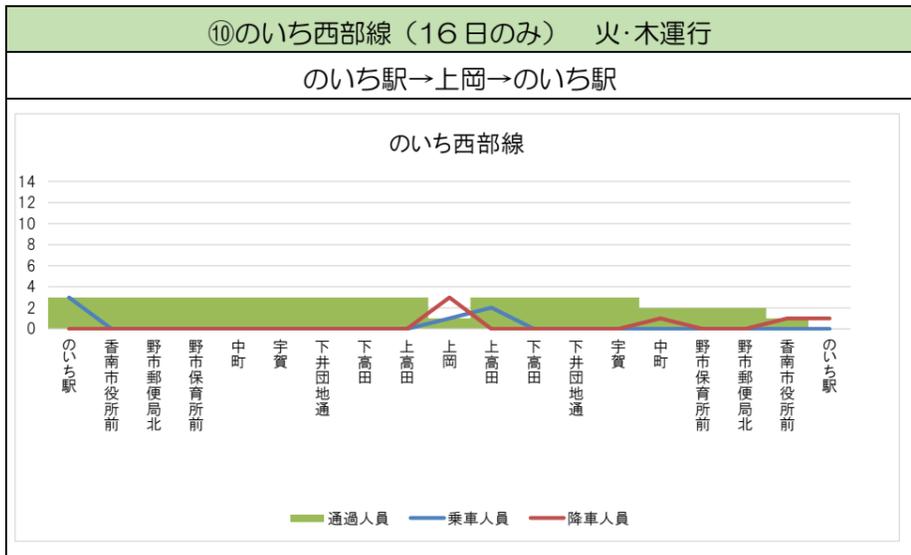
※⑥スクール利用 12 人（上り 5 人、下り 7 人）。スクール利用者を除き、通院目的の利用者が最も多い。



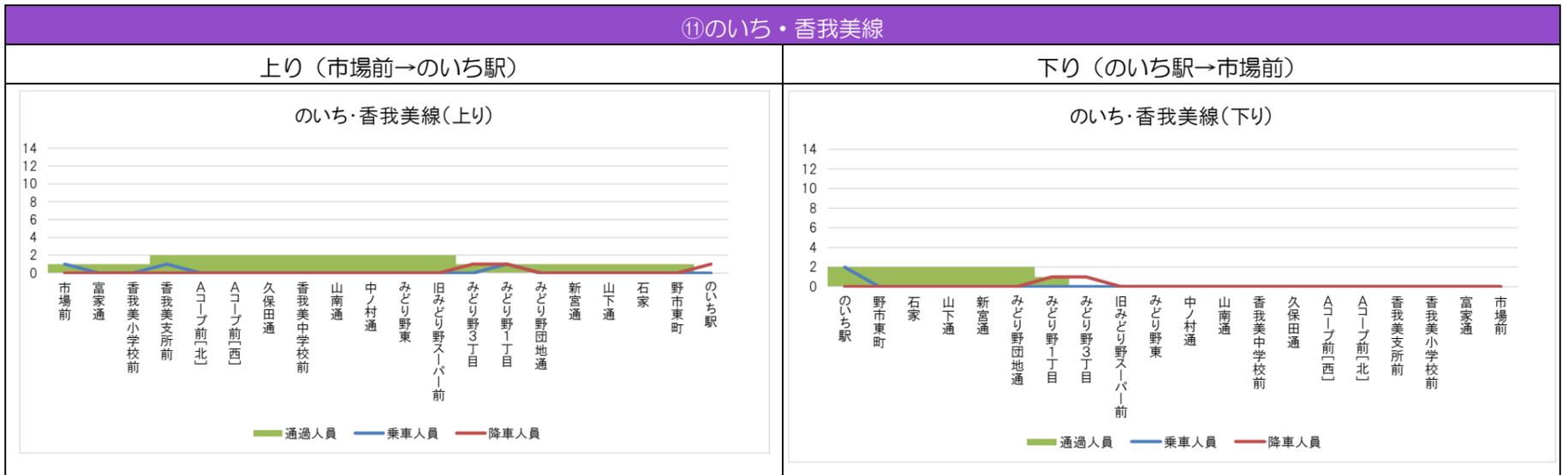
※⑦買い物および通院目的の利用者が各々約半数を占める。



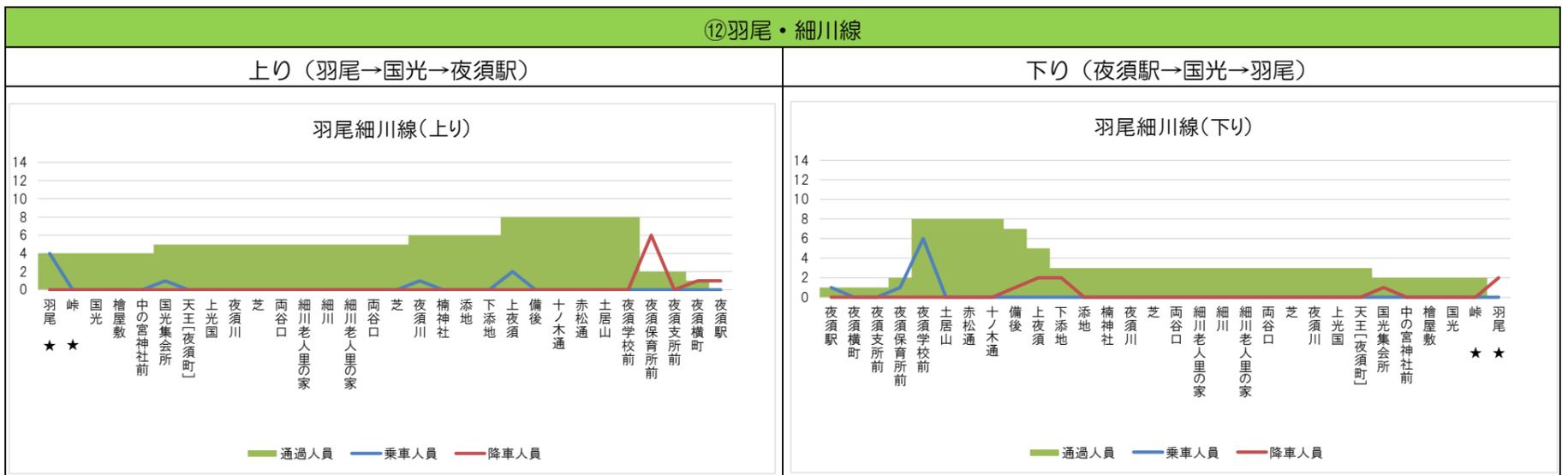
※⑧利用者全員が通院目的で利用している。



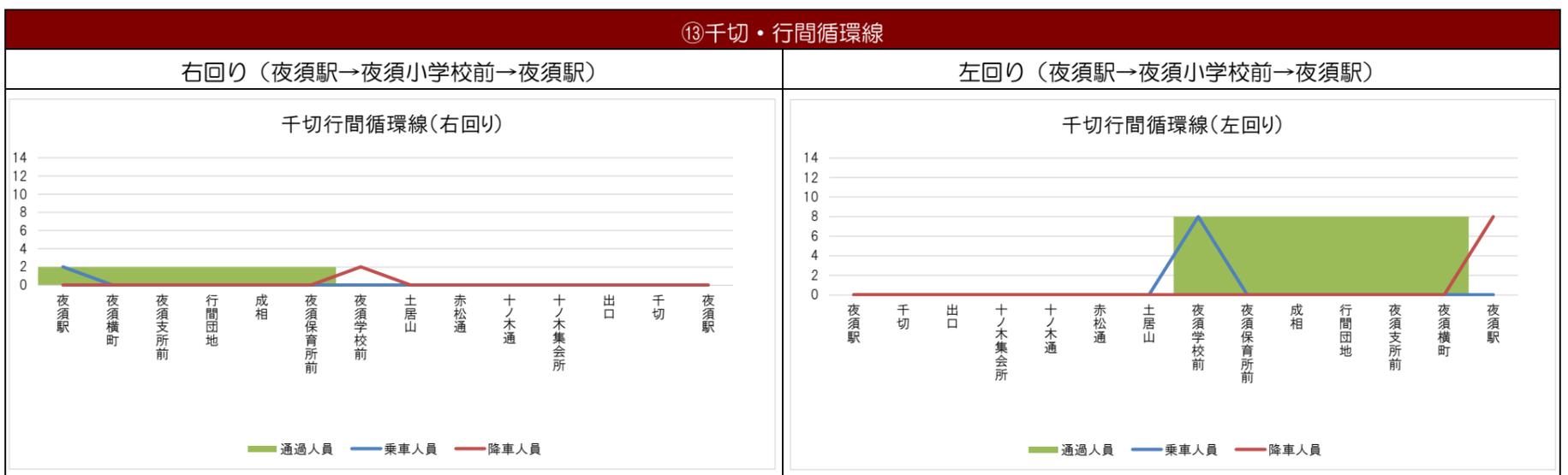
※⑩利用者全員が買い物目的で利用している。



※⑪通勤目的の利用者が最も多い。



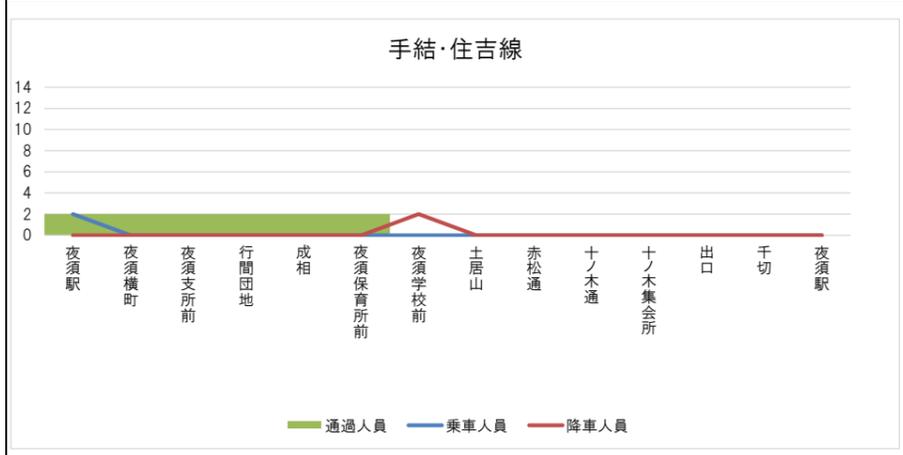
※⑫スクール利用 13人（上り6人、下り7人）。スクール利用を除くと、買い物目的と遊び・趣味・習い事の利用者のみ。



※⑬スクール利用 10人（右回り2人、左回り8人）、スクール利用者のみ利用状態。

⑭手結・住吉線

夜須駅→住吉通→夜須駅



※⑭スクール利用 10 人、スクール利用者のみ利用状態。